

第3回景観まちづくりワークショップの意見集計結果

まち並みA 『新町通りと裏道通りを考える プロジェクト』

	取組みの対象街路		地域・みんなが主体的に行う
	取組みの対象エリア		団体が主体的に行う
	取組みのグループ		事業者が主体的に行う
	取組みの目的と主体、時期を表すグループ		外部の方が主体的に行う
			行政が主体的に行う
			すぐに行いたい

通り全体について

- 蔵や建築物をミニ博物館として活用する
- 通りを歩きながら語り部の話を聞けるようにする
- 銅人形と蔵めぐりを結び付ける
- 若い人や外の人がカフェ等を開店出来るように支援する必要がある
⇒貸す側の意識の改善が必要
- 市の各課の連携を図り、取組みを実施する必要がある
- 忍城址周辺の古い建物をどうにかする
- 交通の便を良くする

案内表示

- 案内表示を統一する
- 裏道の案内表示は小さくする
- 通りのポイントにまち並みに溶け込み、デザイン性のある看板を設置

路地のまち並みづくり

- 歩道の整備を進める
- 路地沿いに花と緑を増やす
- 歩道の舗装を石畳にする
- 歩道に色を付ける
- バリアフリー化を進める

美味しいもの横丁をつくる

新町通りと裏道通りを整備することにより、蓮華寺通りからのつながりが形成される

新町通りについて

- 空き店舗を飲食店や雑貨店（和を演出した）として活用する
- 新町商店街のアーケードを撤去する
- 電線の地中化を行う
- 商店の外観を栃木市の様に歴史的な雰囲気を感じられるまち並みに修景する
- 若い人が出店し易いようにする

裏道通りについて

空き地・空き家の活用

- 空き家を商店にする
- 空き地、空き家を滞在空間として再活用する
⇒四阿（あずまや）のような休憩所を作る
- 木を植樹し、ベンチを設置して木陰を創出する
- カフェをつくる
- 歴史的まち並みの景観形成制度を創設する
- 水路であった表示をする
- 水路であった通りに花を植える
- 通りの名称を付ける











誰が（主体で）取り組むか

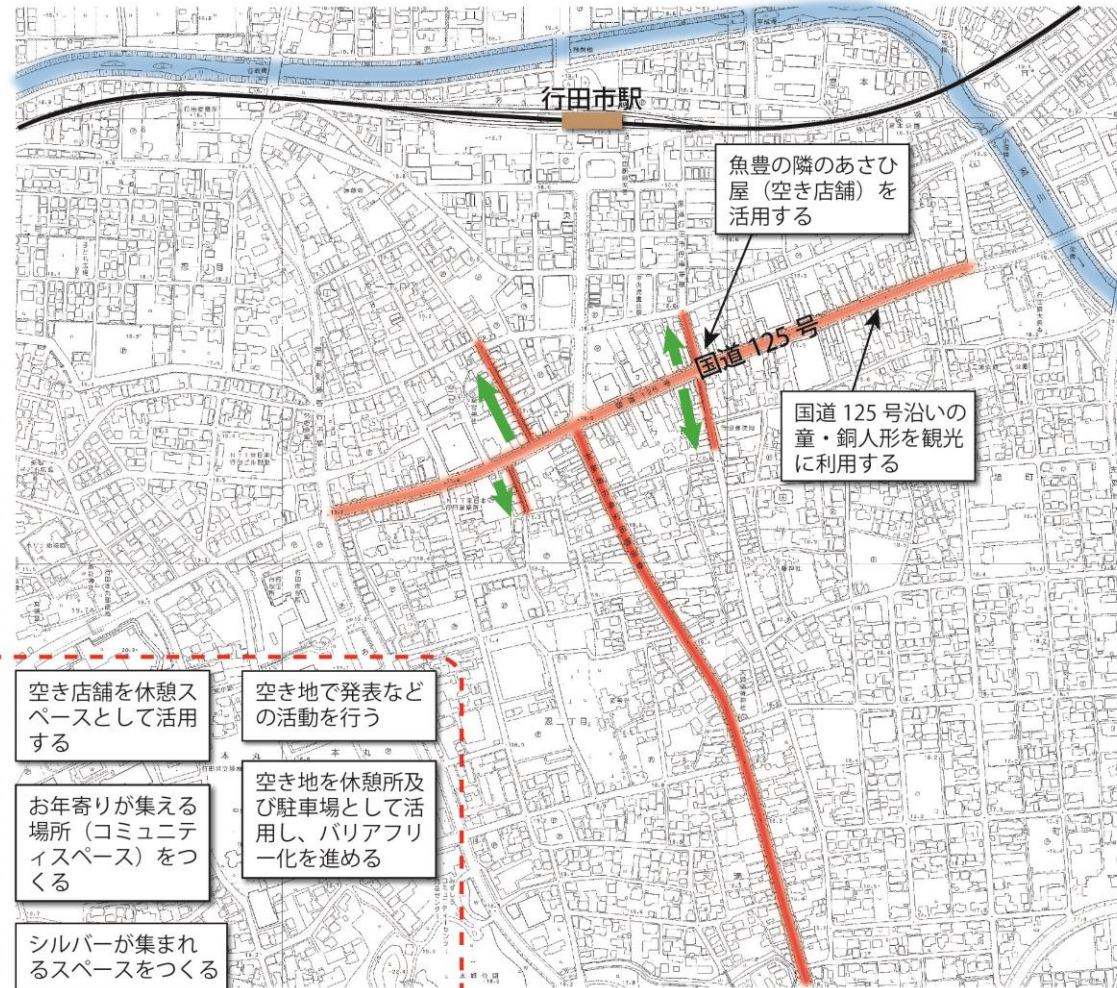
- 花の手入れ、通りの環境整備は住民でも出来る
- ハード的な整備は行政が行う
- マップや案内表示は行政が行う
- 出来るものは早く取組む
- 出来る所から少しずつ取組む

いつ取り組むか

※意見については、原則ワークショップで挙げた意見を転写しております。尚、意見の見出し及びグルーピングについては、改めてまとめております。

まち並みB 『たくさんの人がつどい・出会う 本町通り界わい プロジェクト』

	取組みの対象街路		地域・みんなが主体的に行う
	取組みの対象エリア		団体が主体的に行う
	取組みのグループ		事業者が主体的に行う
	取組みの目的と主体、時期を表すグループ		外部の方が主体的に行う
			行政が主体的に行う
			すぐに行いたい



魅力づくり

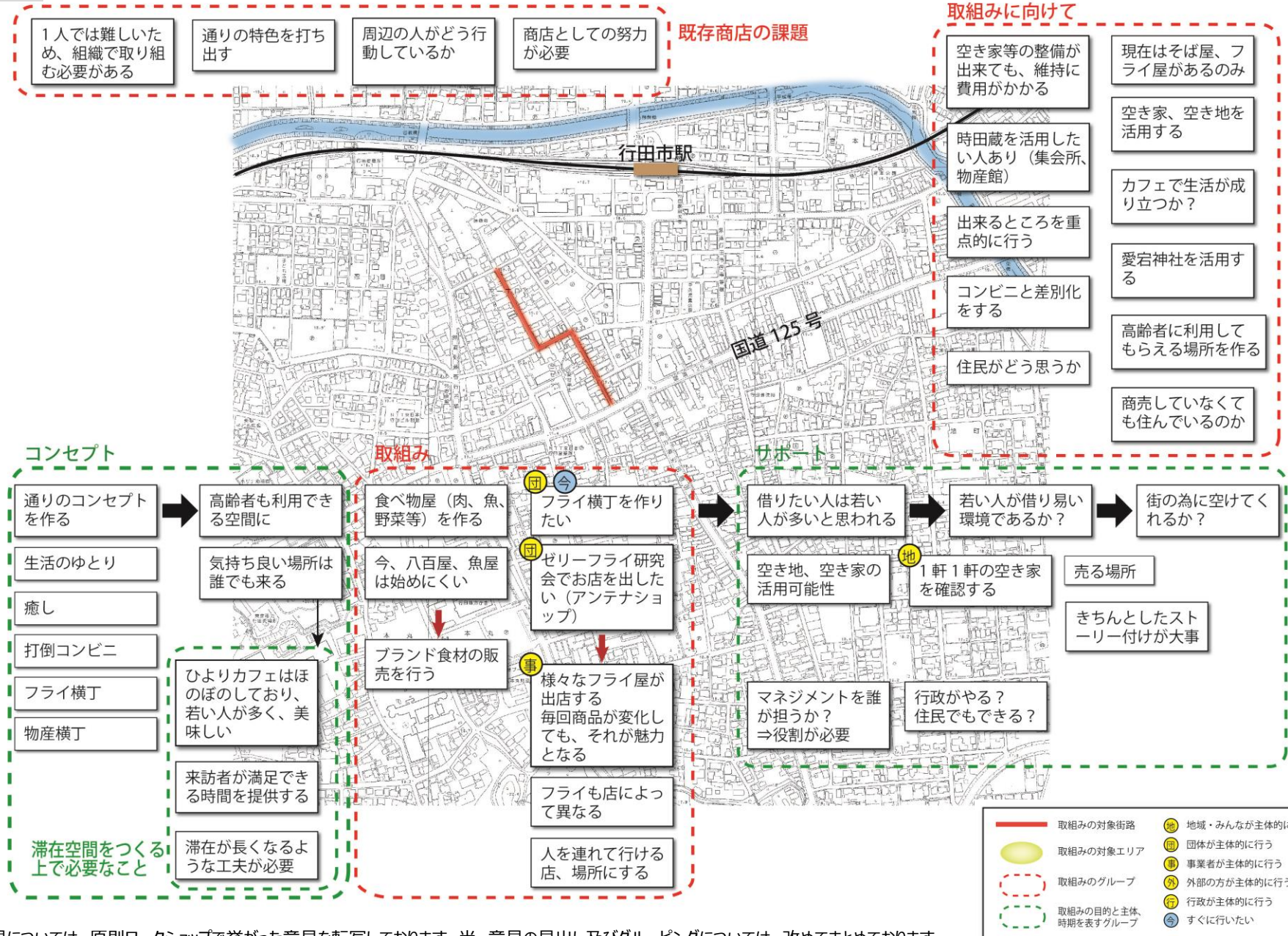
- 本町通りが魅力的になる
⇒路地にも人が訪れる
- 通り沿いや空き地に蓮を植える
- 魅力的な店舗をつくる
- 休憩所で来街者にお茶を提供する
- 食事する所、土産物屋をシェア店舗として設ける
- 商店街、土産物店、レストラン等を目に付く所に設置

- 空き店舗を休憩スペースとして活用する
- 空き地で発表などの活動を行う
- お年寄りが集える場所（コミュニティスペース）をつくる
- 空き地を休憩所及び駐車場として活用し、バリアフリー化を進める
- シルバーが集まれるスペースをつくる

空き地、空き店舗の活用

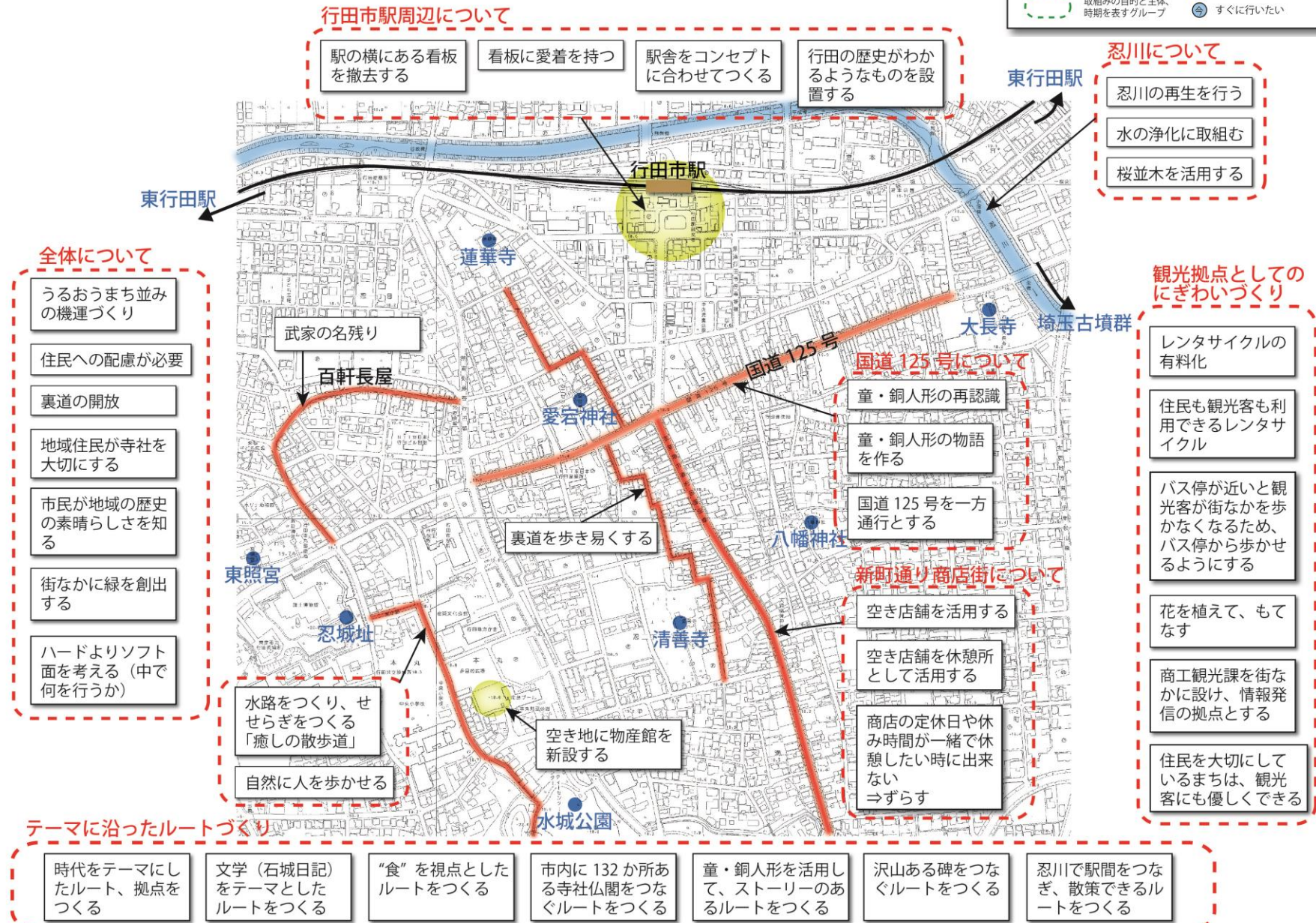
※意見については、原則ワークショップで挙げた意見を転写しております。尚、意見の見出し及びグルーピングについては、改めてまとめております。

にぎわいA 『旧北谷横丁 プロジェクト』



※意見については、原則ワークショップで挙げた意見を転写しております。尚、意見の見出し及びグルーピングについては、改めてまとめております。

にぎわいB 『地域資源をつなぐネットワーク プロジェクト』



※意見については、原則ワークショップで挙げた意見を転写しております。尚、意見の見出し及びグルーピングについては、改めてまとめております。